令和6年度第4回療育支援・教育部会 児童通所支援事業所連絡会
合同会議 議事要録

1. 日時：令和6年12月5日（木）10：00～12：00

2. 場所：南部地域福祉センターB棟1階研修室

3. 議事：

- (1) 佐倉市の障害福祉の現状等
- (2) ことばと発達の相談室の概要
- (3) 発達相談・就学相談の概要
- (4) 保育所等訪問支援事業の概要
- (5) 次回以降の開催スケジュールについて

4. 議事概要

(1) 佐倉市の障害福祉の現状等

●事務局から、佐倉市の障害福祉の現状等について説明

○佐倉市の障害者手帳取得者数の推移

- ・身体障害者手帳は約5千人で横ばい、自立支援医療（精神通院）受給者は約3,300人で増加傾向、精神障害者保健福祉手帳は悪2,100人で増加傾向、療育手帳は約1,200人で微増傾向。

○障害福祉サービス等の利用状況

- ・佐倉市の障害福祉サービス等の予算は毎年度約8%増。

○障害福祉サービス等事業者の収支差率

- ・厚生労働省の調査結果によると、児童発達支援及び放課後等デイサービス事業所の収支差率（利益率）は約6%となっており、中小企業の3.3%よりも高い。

(2) ことばと発達の相談室の概要

●佐倉市母子保健課から、ことばと発達の相談室の概要について説明

○母子保健事業の流れ

- ・健診の目的は発達や健康の確認だが、最近は子育て支援の側面も持っており、子どもと親、親子関係、家族の様子を見るようにしている。
- ・難聴は新生児スクリーニング検査により乳幼児期に確定することがある、受入先が非常に少ないため、児童発達支援事業所における受入れを検討いただきたい。

○ことばと発達の相談室

- ・こどもの発達状況を各種検査により把握し、アドバイスを行っている。

○他機関連携

- ・対応する機関によりこどもの様子・見え方が異なるため、ライフサポートファ

イルの活用等により連携を図りたい。

(3) 発達相談・就学相談の概要

●佐倉市教育センターから、発達相談・就学相談の概要について説明

○発達相談、就学相談

- ・例年同様、本年 6 月に特別支援学校小学部、中学部の見学、7 月に小学部、9、10 月に中学部の体験を行い、就学先を検討いただいた。また、6、7 月に特別支援学級の見学、9～11 月に体験を行った。見学等を通して希望が変わる場合もあるので非常に重要な機会。
- ・就学後に教育センターに繋がるケースもあり、早い段階で相談に来ていただきたい。

○不登校支援

- ・近年、小学 6 年生から中学 1 年生にあがるタイミングで、不登校児童生徒数が約 2～2.5 倍に増加。
- ・（教育支援センターであるルームさくらについて）本人が自分らしく過ごすことのできる場所は、本人の特性や各状況に応じて異なるため、個人の登校スタイルを大切に、リラックスして過ごせる環境づくりを目指している。

(4) 保育所等訪問支援事業の概要

●さくらんぼ園から、保育所等訪問支援事業の概要について説明

○保育所等訪問支援のあり方

- ・保護者の要請を受けて支援を行うものであり、指定訪問支援事業所が自発的に行うものではない。なお、幼稚園や保育園から要請があった場合は、レインボーが受託している千葉県療育支援事業で対応。

○保育所等訪問支援の現状

- ・制度の設立当初と比較すると、市内の幼稚園・保育園とは良好な関係を築けており、支援が行き届いている。他方、小中学校は教員が当該事業を知らない可能性があり、必ずしも十分な連携が図れているとはいえない状況。

(5) 次回の開催スケジュール

○次回は令和 7 年 2 月 6 日に開催予定。

(以上)